

IB番号 IB No.	IB-0800312-I
形名 Model	AJ65SBTC4-16DN-U

**●安全上のご注意●**  
 (ご使用前に必ずお読みください)

本製品のご使用に際しては、本マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って、正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。

本マニュアルで示す注意事項は、本製品に関するもののみについて記載したもので、シーケンサシステムとしての安全上のご注意に関しては、使用するCPUユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。

この「安全上のご注意」では、安全注意事項のランクを「△警告」、「△注意」として区分しております。

△警告 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。

△注意 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、△注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

本マニュアルは必要なときで読み替るよう大切に保管すると共に、必ず最終ユアザまでお届けいただくようお願いいたします。

**[設計上の注意事項]**
**△警告**

●データリンクが交信異常になったとき、交信異常局は次のような状態になります。交信状態情報を使ってシステムが安全側に働くようにシーケンスプログラム上でイタロック回路を構成してください。誤出力、誤動作の恐れがあります。

(1)リモートI/O局からの入力は、全点OFFします。

(2)リモートI/O局からの出力は、全点ONの状態を保持したり、OFFの状態を保持することができます。重大な事故につながる出力信号については、外部で監視する回路を設けてください。

**△注意**

●ユニットは、CPUユニットユーザーズマニュアル記載の一般仕様の環境で使用してください。範囲外の環境で使用すると、感電、火災、誤動作、製品の損傷、あるいは劣化の原因になります。

●ユニットは、DINレールまたは付けねじで、確実に固定し、付けねじは規定トルク範囲で確実に締め付けてください。ネジの締付けがゆるいと、落下、短絡、誤動作の原因になります。

●各端子ケーブルのコネクタは装着部に確実に装着してください。接触不良により、誤動作の原因になります。

**[取付け上の注意事項]**
**△注意**

●ユニットの導電部分には直接触らないでください。ユニットの誤動作、故障の原因になります。

●ユニットは、DINレールまたは付けねじで、確実に固定し、付けねじは規定トルク範囲で確実に締め付けてください。ネジの締付けがゆるいと、落下、短絡、誤動作の原因になります。

●各端子ケーブルのコネクタは装着部に確実に装着してください。接触不良により、誤動作の原因になります。

**[配線上の注意事項]**
**△警告**

●配線作業は、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、感電またはユニットの故障や誤動作の原因になります。

**△注意**

●FG端子は、シーケンサ専用のD種接地(第三種接地)以上で必ず接地を行ってください。感電、誤動作の恐れがあります。

●空端子ネジは必ず締付トルク範囲(0.42~0.50N・m)で締め付けてください。端子ネジと短絡する原因になります。

●圧着端子は、適合圧着端子を使用し、規定のトルクで締め付けてください。先開形圧着端子を使用すると、端子ネジがゆるんだ場合に脱落し、故障の原因になります。

●ユニットへの配線は、製品の定格電圧や端子配列を確認した上で正しく行ってください。定格と異なった電圧の入力や、電源を接続、誤配線をすると、火災、故障の原因になります。

●端子ネジの締付けは、規定トルク範囲で行ってください。ネジの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジやユニットの破損による落下、短絡、火災、誤動作の原因になります。

●ユニット内に切片や配線スチなどの異物があるないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。

●ユニットに接続する電線やケーブルは、必ずダクトに納めるか、またはクランプによる固定処理を行ってください。ケーブルをダクトに納めなかったり、クランプによる固定処理をしていないと、ケーブルのふらつきや移動、不注意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損。ケーブルの接続不良による誤動作の原因となります。

**●安全注意事项●**

(使用之前請务必阅读)

在使用本产品之前，应仔细阅读本手册，同时在充分注意安全的前提下正确操作。本手册中仅记载与本产品有关的注意事项。关于可编程控制器系统的安全注意事项，请参阅所使用的CPU模块的手册。

在“安全注意事项”中，安全注意事项被分为“△警告”和“△注意”两个等级。

**△警告**

表示操作错误时，可能会引起危险，导致死亡或重伤事故。

**△注意**

表示操作错误时，可能会引起危险，导致中度伤害或轻伤，或导致财物损失。

此外，根据情况不同，即使标注为“△注意”的事项也有可能会引发严重后果。这两个等级的注意事项记载的均为重要内容，请务必遵守。

请妥善保管本手册以备需要时取阅，并将本手册交给最终用户。

**[设计注意事项]**
**△警告**

●数据链接处于通信异常时，通信异常站将变为以下状态。应使用通信状态信息，在顺序程序上配置互锁线圈，以保证整个系统能安全运行。否则可能由于误输出、误动作而导致事故发生。

(1) 来自于远程I/O站的输入的全部点OFF。

(2) 来自于远程I/O站的输出的全部点OFF。

●由于远程I/O模块的故障，可能导致输出保持为ON状态或OFF状态。对于可能导致重大事故发生的输出信号，应在外部设置监视电路。

**△注意**

●应在CPU模块手册记载的一般规格环境下使用模块。如果在一般规格范围以外的环境中使用模块，可能导致触电、火灾、误动作、设备损坏或性能劣化。

●请勿将控制线及通信电缆与主电路及动力线等捆扎在一起或相互靠得太近。应相隔大约100mm以上距离。因为噪声有可能导致误动作。

**[安装注意事项]**
**△注意**

●请勿直接触碰模块的导电部分。否则可能导致模块动作、故障。

●模块应通过DIN导轨或者安装螺栓切实地加以固定。安装螺栓应在规定的扭矩范围内切实地拧紧。如果安装螺栓拧得过松，有可能导致掉落、短路或误动作。如果安装螺栓拧得过紧，有可能造成螺栓及模块损坏从而导致掉落、短路或误动作。

●应将各连接电缆的接口切实地安装在安装部位。否则可能因接触不良而导致误动作。

**[配线注意事项]**
**△警告**

●在配线作业时，必须将系统使用的外部供电电源全部断开后再进行操作。如果不全部断开，有可能导致触电、模块故障或误动作。

**△注意**

●必须将FG端子与可编程控制器的专用接地线连接。否则有可能导致触电或误动作。

●空端子螺栓必须在扭矩范围内(0.42~0.50N·m)内扣紧。否则可能导致与压装端子发生短路。

●应使用合适的压装端子，并按规定扭矩拧紧。如果使用Y型压装端子，端子螺栓松动时可能导致脱落或损伤。

●进行模块配线作业时，应在确认产品的额定电压及端子排列的基础上正确进行操作。如果连接了与额定值不符的电压、电源或配线错误，可能导致火灾或故障。

●应避免在规定的扭矩范围内拧紧端子螺栓。如果端子螺栓拧得过松，可能导致短路、火灾或误动作。如果端子螺栓拧得过紧，有可能造成螺栓及模块损坏从而导致掉落、短路、火灾或误动作。

●应注意防止剪切及配线头等异物掉入模块内。否则可能导致火灾、故障或误动作。

●与模块相连接的电线及电缆必须收入套管中，或者用夹具进行固定处理。如果未将电缆收入套管或用夹具进行固定处理，可能由于电缆的晃动及移动、不经意的拉拽等原因导致模块损坏或误动作。

●请勿将控制线及通信电缆与主电路及动力线捆扎在一起或相互靠得太近。因为噪声有可能导致误动作。

●外部连接器的异常或可编程控制器的故障等导致长时间过电流时，可能会导致冒烟、火灾。因此请在外部设置保险丝等安全电路。

●在拆卸与模块相连接的电缆时，请用手拉扯电缆部分。对于带接口的电缆，应用手握住与模块相连接的接口进行拆卸。对于端子排连接的电缆，应松开端子螺栓后拆卸。如果在与模块连接的状态下拉扯电缆，可能导致误动作或模块及电缆损坏。

**● SAFETY PRECAUTIONS ●**

(Read these precautions before using this product.)

Before using this product, please read this manual carefully and pay full attention to safety to handle the product correctly.

The precautions given in this manual are concerned with this product only. For the safety precautions of the programmable controller system, refer to the user's manual for the CPU module used.

In this manual, the safety precautions are classified into two levels:

“△ WARNING” and “△ CAUTION”.

**△ WARNING** Indicates that incorrect handling may cause hazardous conditions, resulting in death or severe injury.

**△ CAUTION** Indicates that incorrect handling may cause hazardous conditions, resulting in minor or moderate injury or property damage.

Under some circumstances, failure to observe the precautions given under “△ CAUTION” may lead to serious consequences.

Observe the precautions of both levels because they are important for personal and system safety.

Make sure that the end users read this manual and then keep the manual in a safe place for future reference.

**△ 注意**

●制御線や通信ケーブルは、主回路や動力線と束線したり、近接したりしないでください。ノイズにより、誤動作の原因になります。

●外部接続機器の異常やシーケンサなどのによる過電流が長時間継続して流れた場合、発煙、発火の恐れがありますので、外部にヒューズなどの安全回路を設けてください。

●ユニットに接続されたケーブルを取りはずさときは、ケーブル部分を手を持って引っ張らないでください。コネクタ付けるケーブルは、ユニットの接続部分のコネクタを手で持つて取りはずしてください。端子台接続のケーブルは、端子ネジを緩めてから取りはずしてください。ユニットに接続された状態でケーブルを引っ張ると、誤動作またはユニットやケーブルの破損の原因となります。

**[立上げ・保守時の注意事項]**
**△ 警告**

●通電中に端子に触れないでください。感電または誤動作の原因になります。

●端子、端子ネジ、ユニット取付けネジを増し締めは、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、感電の恐れがあります。

**△ 注意**

●各ユニットの分解、改造はしないでください。故障、誤動作、ケガ、火災の原因になります。

●ユニットは落下させたり、強い衝撃を与えないでください。ユニットの破損の原因になります。

●ユニット取付け・取りはずしは、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断しないでください。ユニットの故障や誤動作の原因になります。

●端子台の着脱は、製品ご使用後、50回以内としてください。(JIS B 3502に準拠)

●端子台の着脱は、製品ご使用後、50回以内としてください。(JIS B 3502に準拠)

●ユニットに触れる前には、必ず接地された金属などの導電物に触れて、人体などに帯電している静電気を放電してください。静電気を放電しないと、ユニットの故障や誤動作の原因になります。

●各端子の着脱は、製品ご使用後、50回以内としてください。(JIS B 3502に準拠)

●各端子の着

